

令和2年度当初予算案のポイント

健康福祉部

1 基本方針

3年目を迎える長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」を着実に推進するため、「学びと自治の力」を発揮し、政策推進の基本方針である「いのちを守り育む県づくり」、「誰にでも居場所と出番がある県づくり」を中心として、急激な人口減少と人生100年時代の到来、貧困と格差の拡大等の現状を踏まえながら、健康・医療・福祉施策を一体的に取り組みます。

また、台風第19号災害への対応として、被災者支援や医療・社会福祉施設の災害対策に取り組みます。

2 重点事項

※事業名の後の(数字)は、主要事業一覧の事業番号と一致します。

【いのちを守り育む県づくり】

－ 健康長寿 No. 1 を目指して －

令和2年度予算額
(令和元年度予算額)

- 信州ACE(エース)プロジェクト推進事業(1) 3,060万5千円
県民の健康課題を「見える化」し、市町村・保険者等が行う保健事業や企業の健康づくりの取組を支援するとともに、県民の生活習慣の改善に向け、運動(Action)・健診(Check)・食事(Eat)に係る情報発信・環境整備を実施

※ 県民の健康づくりを支援するため、協会けんぽ等保険者、関係部局と連携して取り組みます。

連携部局 企画振興部、総務部、県民文化部、環境部、産業労働部、観光部、農政部、林務部、建設部、教育委員会

－ 医療・福祉人材の確保・養成 －

- 医師確保等総合対策事業(2) 5億5,732万円
医師の不足や地域・診療科の偏在を解消するため、医師の確保・養成や県内定着率の向上を図るとともに、医師不足病院への支援や産科医を増やす取組等を実施 (5億4,791万4千円)

- 福祉人材確保対策事業(4) 3億2,417万8千円
福祉・介護人材の確保・定着を図るため、新たに介護分野の留学生に対する奨学金等の支給支援や介護事業所におけるICTの導入支援等を実施 (3億2,559万5千円)

－ 医療・介護提供体制の充実 －

- 地域医療介護総合確保事業(5) 30億1,224万2千円
地域医療構想を推進し、住み慣れた地域で安心して医療・介護サービスが受けられる環境を整備するため、医療機能の分化・連携及び必要な施設・設備の整備等、医療・介護サービス提供体制の確保・充実に取り組む取組を実施 (34億2,102万2千円)

－ 地域包括ケア体制の推進 －

- 地域包括ケア体制推進事業(6) 2,820万8千円
医療・介護、生活支援等が切れ目なく提供される「地域包括ケア体制」を推進するため、中山間地域の介護・生活支援サービスの確保を図るとともに、「住民主体の通いの場」の整備等に取り組む市町村を支援 (2,396万5千円)

－ 健康を守る疾病対策の推進 －

- 認知症施策総合推進事業 (9) 6,828万1千円
(4,463万2千円)
認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症疾患医療センターの県内10圏域への整備や若年性認知症支援コーディネーターの配置など、医療・介護・福祉の充実と連携により総合的な支援を実施

－ 食品・医薬品等の安全確保 －

- 食品衛生監視指導事業 (16) 2,346万1千円
(2,192万円)
食品衛生監視員による監視指導及び食品衛生推進員による助言等を行うとともに、HACCPの制度化に向けた食品衛生管理手法の研修会等を通じたHACCPの普及を推進
- 医薬品適正使用・環境整備事業 (17) 690万2千円
(670万2千円)
安全な医薬品の流通確保及び適正使用を図るため、ジェネリック医薬品の使用状況等の調査・研究、品質検査を実施するとともに、薬局のかかりつけ機能の強化と薬剤師確保のため取組を実施

【誰にでも居場所と出番がある県づくり】

－ 障がい者が暮らしやすい地域づくり －

- 共生社会づくり体制整備事業 (18) 1,274万6千円
(856万6千円)
障がいを理由とする差別解消や障がい者の虐待防止を推進するため、当事者が気軽に相談できる体制の整備や、障がい者の差別解消、権利擁護のための出前講座や研修等の実施
- 医療的ケア児等支援体制構築事業 (19) 610万9千円
(316万3千円)
医療的ケア児等が安心して在宅生活を送ることができる環境を整備するため、スーパーバイザーによる関係機関の連携体制の構築や医療的ケア児を支援する人材の育成を実施

－ 社会的援護の促進 －

- 信州パーソナル・サポート事業 (22) 1億8,234万円
(1億6,326万円)
生活困窮者の自立を促進するため、生活困窮家庭の子どもに対する学習・生活支援や、伴走コーディネーターの配置による自立相談支援の機能強化の取組を実施 (一部 しあわせ信州創造事業)

－ 人生二毛作社会の実現 －

- 人生二毛作社会推進事業 (24) 1億2,213万2千円
(1億2,201万8千円)
シニア活動推進コーディネーターによる関係機関の連携強化や、シニア大学における「学びと自治」を念頭に置いたカリキュラムにより、シニア世代の社会活動や就業を進め、人生二毛作社会づくりを推進

※ 高齢者が積極的に就業や社会活動が行えるよう、関係部局と連携して取り組みます。

連携部局 企画振興部、県民文化部、産業労働部、観光部、農政部、建設部、教育委員会

【人をひきつける快適な県づくり】

－ 障がい者の文化芸術・スポーツ振興 －

- 障がい者文化芸術振興事業 (26) 1,453万6千円
(620万6千円)
障がい者が文化芸術活動に参加するとともに、障がい者の優れた芸術作品を県民が親しむことのできる環境をつくるため、展覧会「ザワメキアート展」を規模を拡大して開催
※ 障がい者の文化芸術の普及・発展に向け、関係部局と連携して取り組みます。
連携部局 県民文化部、教育委員会
- 障がい者スポーツ振興事業 (27) 1億1,312万8千円
(7,817万6千円)
スポーツを通じた共生社会づくりを推進するため、誰もがスポーツに親しめる環境づくりや、全国障害者スポーツ大会の本県での開催(2027年)に向けた競技力向上への支援を充実

【台風第19号災害への対応】

- 災害時住民支え合いマップづくり促進事業 (21) 1,161万円
(709万4千円)
台風第19号災害を契機に、災害時住民支え合いマップの必要性の発信や、市町村支援策の充実等によりマップづくりを加速させるとともに、マップの実効性を高めるため、モデル地域におけるマップを活用した避難訓練を実施
(しあわせ信州創造事業)
- ㊦ 大規模災害ボランティア活動応援事業 (20) 1,000万円
(0千円)
県内外で大規模災害が発生した際に、被災地での復旧活動に参加するボランティア団体の活動を支援

3 社会保障に係る必要経費の確保

後期高齢者医療費や介護給付費など、生活の基盤を支える社会保障に係る必要経費を確保します。

[主な社会保障関係経費]

事業名	内容	令和2年度予算額 (令和元年度予算額)
後期高齢者医療支援事業	広域連合の後期高齢者医療給付費に対する定率負担(1/12)、低所得者等の保険料軽減措置に要する費用の一部負担等	273億4,983万3千円 (276億1,812万2千円)
介護給付費負担金	市町村の介護給付費等に対する定率負担 (居宅サービス12.5%、施設サービス17.5%)	275億3,659万7千円 (272億8,729万6千円)
国民健康保険運営安定化等事業	国民健康保険の都道府県単位化に伴う負担金等 (保険基盤安定負担金、国民健康保険特別会計繰出金)	173億3,937万9千円 (177億6,071万3千円)
障害者自立支援給付費等事業	市町村の障害者自立支援給付費に対する定率負担等 (国1/2、県1/4、市町村1/4)	127億8,182万4千円 (126億5,401万8千円)
福祉医療費給付事業	市町村が行う乳幼児、障がい者等の医療費自己負担分の給付に要する費用に対する補助等(県1/2、市町村1/2)	42億3,177万4千円 (41億6,527万1千円)
生活保護費	生活保護世帯に対する生活扶助等(国3/4、県1/4)、生活保護法第73条県費負担金	22億6,112万5千円 (22億5,533万8千円)
合 計		918億845万9千円 (917億4,075万8千円)